

群馬自治

4

令和6年

No.380

月号

群馬県町村会・群馬県町村議会議長会／発行・編集人 河野 哲也／〒371-0846 前橋市元総社町335-8 027-290-1352

議長随想

町村トップ通信

草津町／黒岩 信忠 町長
榛東村／生方 勇二 議会議長



榛東村 創造の森キャンプ場

総合事務組合通信⑩ 「群馬県市町村公平委員会苦情相談について」

我が村の魅力紹介

今回は、魅力のあるスポットを交えつつ榛東村についての紹介をさせていただきます。
榛東村は、群馬県のほぼ中央に位置し、東には赤城山、西には榛名山がそびえる多くの自然に囲まれた緑豊かな村です。周囲は前橋市、高崎市、渋川市、吉岡町の三市一町に囲まれ、上毛大橋、高崎渋川線バイパス及び令和八年に開通予定の県道南新井前橋線バイパスにより容易にアクセスすることができ地理的にも大変恵まれた土地となっています。

榛東村の豊かな自然を象徴するスポットとしてまず挙げられるのが、榛名山の腹に設けられた「創造の森キャンプ場」です。近年のアウトドアブームの追い風を受けて利用者が増加している本施設は、四月から十一月まで開場しており、キャンプやバーベキューが楽しめるのはもちろんのこと、春には八重桜でピンク色に染まる斜面を眺め、天気が良好な夜には前橋の夜景を一望することができるなど、

自然を満喫するのに最適なスポットとなっております。

また、榛東村の魅力あるスポットとして外せないのが「榛東村ぶどう郷」の存在です。「榛東村ぶどう郷」は、本格的な栽培が開始されてから六十年を超える歴史を持ち、現在では、二十七軒の農園が栽培を行っています。八月から九月にかけて各農園には、手塩にかけて育てられたデラウェア・巨峰・シャインマスカット等が並び、どれも大変美味であると好評をいただいております。また、生産量は多くありませんが、各農園では珍しい品種も多数栽培しており、普段見かけることのない珍しい品種を求めて農園を巡ってみるのもおすすめです。

ほかにも紹介しきれない数多くの魅力あふれるスポットが榛東村には存在します。今後は、さまざまな媒体を用いて県内外に発信しながら、榛東村の魅力を伝えつつ、活性化を推し進めていきたいと考えております。

（榛東村 総務課 尾崎 玄）



進化し、歩み続ける

町づくり

草津町長 黒岩 信忠

【はじめに】

草津町は、恵まれた郷土の自然と千古の昔から尽きることなく、こんこんと湧き出でる豊富な温泉に感謝し、先人の偉業を受け継ぐことを町民憲章の理念としています。

私はこの意思を重んじながら、「草津町のさらなる飛躍と発展の道は経済の再生にある」と常々考え、町長就任時から十四年間で、『福祉と観光のまちづくり』を政策理念の柱として掲げて各種の施策を進めてきました。特に、ビジネス感覚を行政運営に取り入れ、「科学と感性」を自身の軸とし、各種の施策を進めてきたことが現在の草津町の活性化につながったものと分析しています。

【百年先を見据えた

付加価値の高いまちづくり】

これまでの取り組みを振り返りますと、私は町長に就任してから、草津温泉のシンボルである「湯畑の再整備」を最初に行



令和5年10月完成 温泉門

い、次に、「御座之湯」、「熱乃湯」及び「湯路広場」など、各時代の趣を尊重した景色づくりを進めてまいりました。加えて、「西の河原公園の再整備」を実施しながら、令和二年には「裏草津地蔵」も完成させ、併せて、町内各所へ手洗乃湯や顔湯といった新たな発想を加えた施策を推進してきました。

また、昨年は、九年の構想をかけて一歩ずつ進めてきました「立体交差及び温泉門事業」を実現させることが出来ました。



令和5年12月完成 パルスゴンドラ

長年、草津温泉入り口において渋滞を引き起こしていた大きな課題を解消するための整備事業でありましたが、群馬県をはじめとした関係各位の協力を得て完成させることができ、町民そしてお客様から好評の声を寄せていただいている状況にあります。草津温泉のシンボルである湯畑のサテライトとして、この「温泉門」は新たな名所になるものと期待を寄せています。加えて、草津温泉スキー場においても、通年型山岳リゾート

への変貌と今後のインバウンドを見据え、八人乗りの新たな「パルスゴンドラ天狗」を稼働させ、同時に、天狗山ゲレンデ山頂から温泉街を見渡すことができる「展望レストラン／クリスタル天」についてもオープンさせることが出来ました。

【草津町は常に進化をし、歩み続けていく】

私は「草津温泉に完成はなく、常に進化を遂げながら歩み続ける町」でありたいと考えています。

今後は、インバウンド事業を視野に、天狗山レストハウスの新築を計画していくほか、令和六年度からは町の玄関口である「草津温泉バスターミナルの再整備」を進め、さらに魅力あるまちづくりを創出していく所存であります。

これらの取り組みは、お陰様で形として評価され、今回の観光経済新聞社主催「にっぽんの温泉百選」において、二十一年連続で一位に選出され、さらに、今回の「じゃらん人気温泉地ランキング二〇二四」では、もう一度行ってみた温泉地において、草津温泉が一位に返り咲くという大変高い評価をいただくことができました。

また、観光入込数の観点で申し上げますと、過去最高の入込を記録したコロナ禍前の令和元年度の年間三百二十七万人を昨年度は大きく超える推計となり、過去最多を更新する見込みです。年間四百万人のお客様を迎え入れようとしている目標は、決して遠くない未来に実現できるものと見込んでおります。

関連して、全国の多くの方々から草津町にご寄附という形で応援をいただいております「ふるさと納税」につきましても、お陰様で伸びをみせております。全国の方々や多くの関係者から毎年高い評価を頂けますのも、関係各位のお力添えによるものであると、改めて感謝申し上げます。

結びに、先人から途切れることなく脈々と受け継がれてきた草津町の歴史と伝統を後世に紡ぐため、更に進化し、歩みを止めることなく進んでいく決意でありますので、皆様には是非、時計の針を止めて、四季折々、情緒溢れる草津町へお越しいただきますよう心からお待ち申し上げます。

県民の幸福度を向上し、新群馬を実現 世界最先端の「群馬モデル」で未来を創る



令和六年度群馬県当初予算について

はじめに

令和六年能登半島地震により犠牲になられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表するとともに、被害を受けられた多くの方々に対し、心からお見舞い申し上げます。

現在も多くの方々が避難生活を余儀なくされております。

被災地が一日も早く復興されま

すことをお祈り申し上げます。
群馬県としても、緊急消防援助隊やDMATの派遣をはじめ

とした人的支援や、トレーラー

トイレ等の物的支援など、全力で被災地支援に取り組んでおり

ます。今回の災害状況を踏まえ、群馬県で大規模災害が発生した場合の対応について、改めてシミュレーションを行い、更なる

対策を進めてまいります。

また、元日に群馬県内で今年

度一例目となる、高病原性鳥インフルエンザが発生しました。

発生後は、殺処分や埋却等のほか、発生農場周辺の消毒ボイ

ント設置などの防疫措置を速やかに実施してきました。国、自衛隊、市町村に加え、JAGグループ、建設業協会をはじめとした関係団体からも応援をいただきました。御協力いただいた関係の皆様には厚く感謝を申し上げます。

群馬県としては、農家の皆様が安心して養鶏業を営むことができるよう、国や市町村、関係機関としっかりと連携し、原因の究明、再発防止に全力で取り組んでまいります。

〔当初予算編成の基本方針〕

これまで新型コロナウイルス感染症対策のほか、様々な自然災害のリスクや貧困等の問題から、県民の生命と健康、暮らしを守ってきました。こうした取組は、山本県政が掲げる「県民幸福度の向上」を推進する上で、言うまでもなく最も重要なことだと考えています。

それと同時に、群馬県の更なる発展のためには、「攻め」の姿勢も重要です。新群馬の創造に向けて、「リトリートの聖地」

「クリエイティブの発信源」「レジリエンスの拠点」の三つの近未来構想を着実に進めていく必要があります。

令和六年度予算は、まさしく「攻」と「守」のバランスを考えた予算となっています。

加えて、一期目にまいた種がようやく芽を出し始めたことを踏まえ、「群馬モデル」という他県ではやっていない、世界最先端の地方行政モデルを数多く打ち出しました。この「群馬モデル」を発信していくことが、群馬県のダイナミックな未来を創造していくうえで不可欠だと考えています。

令和六年度当初予算は、こうした思いを込めて、『幸福実感・新群馬実現予算』『群馬モデルで未来を創る』と命名させていただきました。

〔当初予算の規模〕

令和六年度の一一般会計当初予算の総額は、七千八百十六億円です。

令和五年度当初予算と比較して三百八十一億円減少していますが、新型コロナウイルス対策関連予算を除くと、二百十八億円の増加となります。これは、新たな施策にも積極的に取り組んでいく

ためです。

〔重点施策〕

令和六年度当初予算の主な取組について、四つの重点施策に沿って御説明申し上げます。

重点施策の一つ目は、「県民の幸福度向上」です。

私は、「誰一人取り残されない群馬」を築いていくうえで、未来を担う子どもたちへの教育が極めて重要であると考えています。

そのため、群馬県では独自の特色ある教育として、非認知能力に着目した教育の実践に取り組みます。昨年十一月、私がスコットランド教育庁を訪問した際に提案した共同研究など、具体的な取り組みを開始します。

そして、障害のある子もいない子も、同じ場所で共に学ぶ「インクルーシブ教育」について、モデル校設置に向けた調査研究に取り組みます。

こどももまんなか政策としては、養育費不払いへの対策を強化するほか、ケアリーバーへのアフターケア拠点を充実させます。

女性支援では、困難な問題を抱える女性を支援するため、ケアにあたる心理士を派遣するな

ど相談体制を強化します。

多文化共生・共創としては、県立夜間中学「みらい共創中学校」を四月に開校し、群馬モデルと言えるような夜間中学を目指します。

また、交通弱者にも配慮した未来の交通を実現するため、「Gunmaas」を、県内市町村へさらに拡大するための機能の拡充などを行います。

さらに、幸福感の判断に大きく影響している、県民の健康面を支える「医療提供体制の拡充」にも取り組みます。

新たな感染症はいつ発生するかわかりません。このため、次のパンデミックに備え、来年度から本格的に医療提供体制の整備や人材育成に着手します。

また、在宅医療や災害医療などの対応拠点となる「群馬メディカルセンター」整備を支援するほか、デジタルを活用した周産期医療体制の充実や遠隔医療の整備に取り組みます。医師確保対策についても、引き続きしっかり取り組んでまいります。

なお、先日、小児医療センターを群馬大学医学部附属病院の隣接地に移転し、再整備すること

を決定しました。今後、関係者と調整しながら、一日でも早く開院できるよう、整備を進めていきます。

福祉施策のさらなる充実も重要です。

全国で最も手厚い制度である群馬県の「子ども医療費無料化」を継続してまいります。

また、高齢者と若い世代との交流を促進し、高齢者の孤立を防ぐモデル事業にも取り組みます。

「健康寿命の延伸による幸福度向上」としては、県公式アプリ「G-WALK+（ジウォークプラス）」の機能充実により、県民主体の健康づくりをさらに進めるほか、特定健診データを分析して効果的な施策を検討していきます。

また、高齢者向けの「ぐんまちよい得シニアパスポート」をマイナンバーカードと連携させ利便性を高めます。

重点施策の二つ目は、「新群馬の創造」です。

来年度も、群馬県の温泉をはじめとした豊かな自然の魅力を最大限活用するため「リトリートの聖地」を目標に掲げ、長期滞在型の観光を進めていきま

す。農畜産物やアクティビティなど、高付加価値のサービス体験を組み合わせた、群馬県ならではの旅行スタイルを提案してまいります。また、それに向けた各観光地の受入環境整備を支援します。

県立赤城公園については、民間活力を活用しながら、キャンピングフィールドやランドステーションを整備し、令和七年度のオープンを目指します。

温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録については、今回の国内候補選定を目指してまいります。

「クリエイティブの発信源」に向け、国と連携して、Gメッセ群馬にデジタル人材育成拠点「TUMOセンター」を新設します。また、「tsukurun」をサテライト展開すること

で、デジタルクリエイティブ人材育成体制を強化します。

加えて、Gメッセ群馬をクリエイティブの拠点とするための基本構想の策定や、スタジオ機能強化のための改修設計などを行います。

また、映像産業や人材を集積させるため若手クリエイターの映像制作を支援するほか、新た

に県内での映像制作費を補助し、大型作品の誘致に取り組みます。

そして、「レジリエンスの拠点化」に向けては、民間と連携して「命のコンテンツプロジェクト」に取り組むほか、新たな減災目標を定めるための地震被害想定調査を十二年ぶりに実施します。

また、災害対応力向上のため、県庁舎内の危機管理センターの拡張整備や県内医療機関の機能強化を行います。

さらに、激甚化する災害から県民の命と財産を守るため、引き続き、水害対策や防災インフラの整備などにも取り組みます。

重点施策の三つ目は、「群馬モデルの発信」です。

群馬の強みを活かした独自の群馬モデルを追求し、国内外に発信するという流れを、来年度はより加速したいと考えています。

特に、胸襟を開いて、多様な人材や考えを受け入れることで、群馬から新たなビジネスが次々と創出される。こうした「全県リビングラボ構想」の実現に向けて、実証フィールドの発

掘や発信、共創プロジェクトの創出に取り組めます。

農業の持続的かつ安定的な発展のため、畜産業が盛んな群馬県の特長を活かし、有機質肥料を普及させ、引き続き有機農業の普及、拡大を目指してまいります。

ぐんまちゃんについては、活動三千周年を記念した事業を実施するほか、海外向けのプロモーションを強化します。

次に「県有施設の効果的な整備」です。群馬県では、県有施設についても、官民の知恵を結集し、予算をしっかりと投入することで、質の高い、県民の誇りとなるような施設に造り上げていくこととしています。

予算額を見ると巨額の投資に見えますが、老朽化した現行のまままで維持するよりも、中長期的には財政負担を軽減することができ、尚且つ賑わいも創出できるとなります。まさにワイズスペンディングの発想です。

フラワーパークについては、令和七年四月のリニューアルオープンに向け、改修工事や開園準備を進めます。

また、敷島公園新水泳場につ

いては、民間のノウハウを活用するPFI方式で設計などに着手し、県産木材を活用した特徴ある施設をつくっていきます。

さらに、令和七年四月の開校に向け、沼田高校・沼田女子高校を合わせた新高校の建設を進めます。

また、群馬県では、デジタルの力で地域課題を解決するため、あらゆる分野でデジタルトランスフォーメーションを進めています。「ぐんまDXハイスクール事業」では、ICTを活用した文理横断的な学びを強化するため、公立高校に対して必要な環境整備を行います。群馬県が誇るtsukurunや今後設置予定のTUMOセンター等との連携を視野に、教育のDXを進めます。また、マイナ保険証を活用した電子処方箋の活用・普及促進に取り組んだり、市町村のDX化を支援するなど、DXの流れを加速化させます。

グリーンイノベーションにつ

いては、脱炭素に取り組もうとする市町村と企業のマッチングを支援するとともに、太陽光発電設備や蓄電池の導入への補助を行います。

重点施策の最後は、「財政の健全性の確保」です。攻めの予算を編成する中でも、知事就任以来重視してきた「財政の健全化」に留意いたしました。

令和六年度当初予算では、「基金残高の確保」、「県債発行額の抑制」、「県債残高の縮減」の三点について、前年度からさらに改善することができました。

まず財政調整基金の残高については、前年度を上回る二百六十九億円を確保しました。これは、平成十年以降で最高額となっています。かつては、ほぼ全額を取り崩して当初予算を編成していました。緊急事態への備えが不十分だったと言わざるを得ない状況でしたが、令和六年度当初予算においては、さらに改善することができました。

県債の新規発行額については、臨時財政対策債の大幅な減により、発行額を四百七十五億円に抑えました。これは過去三十年間で最も少ない発行額となります。

これにより、県債残高は令和五年度決算見込と比べて、四百三十八億円減少させることができました。県債残高の減少

は三年連続となり、ピークであった令和三年度と比較すると、九百八十四億円減少したことになります。

これまで山本県政では、県有施設のあり方や様々な事業についての見直し作業を積み重ねてきました。加えて、少ない投資で大きな成果を生む事業の工夫や新規事業にはできるだけ国の財源を活用するなどワイズスペンディングを実践してきました。そして知事によるトップセールスでも、県の取組を政府に後押ししてもらえよう、働きかけてまいりました。

令和六年度当初予算編成においても、限られた人的資源と財源を有効に活用するため、引き続き、①ワイズスペンディングの視点による費用対効果の高い事業への事業見直しや、②民間リソース等の積極的活用、③自ら「稼ぐ」施策、④デジタル化による事務の効率化を強力に進めることにより、事業の見直しを進めました。

こうした取組の結果、令和六年度当初予算では、県債の発行を大幅に抑制し、県債残高も減少させながら、前年度を上回る基金を確保することができました。

考えています。今後も引き続き、財政の健全化に努めてまいります。

【おわりに】

新型コロナウイルスとの闘いに一区切りがつき、今まさに新しい世界に突入しました。

今回の予算は、群馬モデルとワイズスペンディングの二つのコンセプトにより、攻めの姿勢で新しい事業を進め、時代の最先端をいくような群馬県にしていきたいという思いを込めて作りました。

これこそが、山本県政の最大の目標である「県民幸福度の向上」に繋がるものと信じ、全力を尽くしてまいります。

そのためには、引き続き、県民皆様方の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

当選町村長の紹介



玉村町 石川 眞男



千代田町 高橋 純一

一九五三年一月玉村町生まれ。七十一歳。趣味は読書、散歩、映画。座右の銘は「真理は人を自由にする」。同じ意味で、「真理は人に自由を与える」。感銘を受けた本は「人新世の『資本論』」（斎藤 幸平・著）。

一九六〇年十二月千代田町生まれ。六十三歳。趣味はドライブ、読書、仕事。座右の銘は「やってみせ言つて聞かせてさせてみて誉めてやらねば人は動かじ」。感銘を受けた本は『優厳実行』（登坂 利彦・著）。



少子化対策の推進、 全国的な防災・減災対策、

国土強靱化の推進などを 求める決議を採択

群馬県町村会定期総会

二月十六日、午前十時から、前橋市・市町村会館大会議室において、県内二十三町村長をはじめ、各郡町村会関係者等約四十人の出席のもと群馬県町村会定期総会が開催された。

会長挨拶

本日ここに、定期総会を開催いたしましたところ、ご来賓の山本知事、安孫子県議会議長、石内町村議会議長会長におかれましては、公務ご多端の折にもかかわらず、ご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

町村長の皆様方におかれましては、お忙しい中、ご参集いただき、誠にありがとうございます。

ご来賓各位ご臨席のもと、この後、自治功労者への表彰式典を挙行いたしますが、表彰を受けられる皆様方におかれましては、多年にわたり、地方自治の進展のために大きな役割を果たしてこられた方々であり、長年のご尽力、ご労苦に対し、深く敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。



開会挨拶を述べる茂原会長

さて、本年は、元旦早々大変な災害に見舞われるスタートとなりました。

災害に遭われた方々、今もなお避難生活を余儀なくされている方々にお見舞い申し上げますとともに、復興、復旧作業にご尽力されている方々、医療関係者の方々に、深く敬意を表したいと思います。

群馬県をはじめ、各町村におかれましても、人的支援や物質的な支援をされていることと思います。

群馬県町村会からも、石川県町長会あてに心ばかりではあり

ますが、百万円の義援金を送らせていただきましたので、ここで町村長の皆様にご報告させていただきます。

全国からの多くの支援が、避難地域に行き届き、一日も早く安心して暮らせる環境が整うことを願うばかりでございます。

今回の地震災害に限らず、猛威を振るう自然災害が毎年のように発生しております。

住民の安全・安心な暮らしを守るために、災害に備え万全を期しておかなければならないと改めて思う次第でございます。

また、それぞれの町村が、知恵を絞り、工夫を凝らしながら、地域の多様性を活かし、住民と協働したまちづくり・むらづくりをさらに進め、様々な連携協力を行い、都市と農山村が共生する社会の実現を目指すことが、平時だけでなく、自然災

害や感染症にも強い国づくりに大きく貢献することになると思われます。

現在、町村を取り巻く環境は、急速な少子高齢化や人口減少、基幹産業である農林業の衰退など依然として多くの課題を抱え、また、総じて税源にも乏しく、厳しい財政運営を余儀なくされております。

こういった大変厳しい状況にはありますが、町村は、文化・伝統の継承はもとより、食料の供給、水源涵養、自然環境の保全等、国民生活にとって極めて大きな役割を果たしており、私たち町村長は、この国民共有のかけがえのない財産でもある町村を次世代に継承していけるよう、日々懸命に取り組んでいるところであります。

この取組みを更に推し進めるため、私たちは、相互の連携を一層強固なものとし、直面する課題に積極果敢に取り組む、地域特性・地域資源を活かした施策や田園回帰の流れをより一層加速させる施策を展開するとともに、「国の宝」でもある子供たちが、郷土に愛着と誇りを持てる「まちづくり・むらづくり」に全力で取り組んで行く必要が

あります。

町村が、自主性・自立性を発揮しつつ様々な施策を展開していくためには、地方交付税等の地方財源の安定確保が何よりも重要であります。

国には、町村の生命線ともいえるべき地方交付税をはじめとする一般財源の総額が確実に確保されるよう、今後とも強く求めていかねばなりません。

本日の総会では、以上申し述べた私どもの決意や政府等に強く求めていく事項を示した宣言・決議も提案させていただきますので、よろしくご審議の程、お願いいたします。

結びに、本日ご参加いただいた皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念し、開会の挨拶とさせていただきます。

開会挨拶に続き、全国町村会表彰伝達として、一月二十五日開催の全国町村会自治功労者表彰式において町村長三期として表彰を受けた神流町・田村利男町長、川場村・外山京太郎町長及び明和町・富塚基輔町長の三名並びに町村長在職四期以上の者で当該職を辞したのものとして表彰を受けた前榛東村長・眞塩



祝辞を述べる
山本群馬県知事



祝辞を述べる
安孫子県議会議員



祝辞を述べる石内群馬県
町村議会議員会長

卓氏及び前邑楽町長・金子正一氏を代表して外山川場村長に表彰状と記念品が伝達され、群馬県町村会自治功労者特別表彰及び一般表彰の被表彰者百三十五名を代表して板倉町・栗原実町長に表彰状を授与した。

更に山本一太群馬県知事から前榛東村長・眞塩卓氏及び前邑楽町長・金子正一氏（当日は欠席）へ知事感謝状が贈呈された。

その後、山本一太群馬県知事、安孫子哲群馬県議会議員及び石内國雄群馬県町村議会議員会長からの来賓祝辞の後、被表彰者を代表して富塚基輔明和町長が謝辞を述べた。

表彰式典に続く議事では、監事の補欠選任の承認が提出され、欠員となっていた監事に萩原睦男長野原町長の選任が承認された。



監事に就任した萩原長野原町長

その後、令和四年度の事業報告、一般会計及び特別会計の歳入歳出決算認定並びに令和六年度の事業計画、一般会計及び特別会計予算、会費賦課徴収方法の審議が行われ、いずれも原案のとおり了承、認定及び決定さ



決算審査を報告する村山前監事

れた。

また、群馬県町村会の運営と密接な関係がある全国町村職員生活協同組合群馬県支部会長の令和四年度決算及び令和六年度予算についても報告が行われ、了承された。

続いて、我が国の急速な少子高齢化と深刻な人口減少が地域活力を低下させ、特に財政基盤が脆弱な町村においては、基幹産業である農林業が衰退するなど極めて厳しい状況にあることから、県内二十三町村が連携を一層強固なものにして、地域の特性と資源を活かした施策を展開し、希望に満ちた個性あふれる地域づくりに取り組む必要があることから、群馬県町村会としての運動方針を闡明にするため熊川栄副会長（嬭恋村長）が宣言を朗読提案し、満場の拍手で採択された。続いて、我が国の多様な地域社会が健全に存続・発展するためには、町村の自主性・自立性を発揮した地方創生施策を更に推進していくことが必要であるため、これを表明し国へ要請するため堤盛吉副会長（昭和村長）が決議を朗読提案し、満場の拍手で採択された。なお、この宣言・決議を群

馬県選出の国会議員に送達することが併せて決定された。

最後に、熊川副会長の挨拶により定期総会を閉会した。

その後、日本郵便株式会社の原田賢一郎地方創生推進部長、武居丈二地方創生推進部シニアアドバイザー（前全国町村会事務総長）から「郵便局と地方創生」と題した講演があった。

宣言

豊かな自然に恵まれた群馬県の町村は、国土保全や脱炭素化はもとより、国民生活にとつてかけがえない水や食料を安定的に供給する公益的機能を果たすとともに、住民と行政との距離が近い長所を活かし、住民の誰もが居場所と出番がある幸福度の高い理想の自治体への道を着実に歩んでいる。

新たな感染症の経験が、「新しい日常」への転換により、仕事のリモート化等の進展や人々の意識・価値観の変化をもたらした。このような状況の中、安全・安心のベースになる「ゆとりのある生活空間」が充分にあり、自然景観や温泉に恵まれた本県の町村は、その魅力が格段に高まり、移住先として期待さ



宣言を朗読する熊川副会長

れている。

一方、地球温暖化による自然災害を頻発化させないためにも、脱炭素社会の実現は必須である。本県の町村は再生可能エネルギーをはじめ地域資源の宝庫であり、環境との調和・共生を図りながら、その潜在力を最大限に活かすことは、地方創生を推進する観点からも極めて重要である。

我々群馬県の町村長は、相互の連携を一層強固なものにしながら、移住者の増加等による東京一極集中の是正及び脱炭素社会の実現に向け、地域特性や地域資源を活かした住民の幸福度をさらに高める施策を展開し、災害や感染症に強い安全・安心な郷土づくりを進めるとともに、町村の子供たちが我が町・我が村に愛着と誇りを持てる町づくり・村づくりに全力で邁進することをここに誓う。

以上、宣言する。

決議

町村は、文化・伝統の継承はもとより、食料の供給、水源かん養、自然環境の保全等、国民生活にとつて極めて大きな役割を果たしている。

このような国民共有のかけがえない財産であり、日本人の「心のふるさと」でもある町村を次の世代に引き継いでいくことが、我々町村長の責務である。そのためには、町村が、財政力を高め、東京一極集中の是正と地方創生の推進による分散型の国づくりに取り組み、都市と農山村が共生する持続可能な社会を確立していくことが必要である。

よって、都市と農山村が共生する安全・安心で持続可能な社会の実現に向け、町村が自主的・自立的に様々な施策を展開できるように、政府及び国会議員各位におかれては、下記事項の実現を図るよう強く要請する。



決議を朗読する堤副会長

記

一、少子化対策を推進し、ことも・子育て政策を強化すること。

一、原油価格・物価高騰対策等を強力に推進し、地域経済の再生を図ること。

一、全国的な防災・減災対策、国土強靱化を推進すること。

一、「デジタル田園都市国家構想交付金」等を拡充し、デジタルを活用した地域活性化と地方創生の更なる推進を図ること。

一、町村にとつて命綱である地方交付税等の一般財源総額を確保すること。

一、地方の情報通信基盤とそのネットワークの一層の整備をはじめとするデジタル化施策を積極的に推進すること。

一、再生可能エネルギーの宝庫である農山村の潜在力を最大限生かした取組を推進し、脱

炭素化社会を実現するとともに、持続可能な農山村の発展に向けた政策を講じること。

一、田園回帰の時代を拓き、農山村と都市の共生社会を実現すること。

一、食料安全保障の確立と持続可能な農業・農村政策を推進すること。

一、豚熱（CSF）及び高病原性鳥インフルエンザについて、感染経路や発生原因の究明等、総合的な感染防止対策の強化及び対策に係る財源確保を図ること。

一、森林環境譲与税の譲与基準について、対象となる森林や森林面積割合を見直すこと。

一、国産木材の一層の需要拡大・利用促進による林業の振興を図ること。

一、ゴルフ場利用税を断固として堅持すること。
以上、決議する。

令和六年度群馬県町村会事業計画

基本方針

県内町村は、文化・伝統の継承はもとより、食料の供給、水源かん養、自然環境の保全、脱炭素化等、国民生活にとつて極めて大きな役割を果たしてい

る。このように、国民共有のかけがえない財産であり、日本人の「心のふるさと」である町村を次世代に引き継いでいくことも我々町村長の責務である。

しかしながら、東京一極集中

が続く中で、町村は、急速な少子高齢化や人口減少、基幹産業である農林業の衰退など多くの課題を抱えており、また、総じて税源に乏しく厳しい財政運営を余儀なくされているうえに、原油価格・物価高騰等が、住民の生活及び地域の経済活動に甚大な影響をもたらしており、地震や台風などの自然災害も頻発している。

こうした状況を踏まえ本会では、県内二十三町村相互の連携を一層強固なものとし、住民の命と暮らしを守り、地域特性や資源を活かした施策を推進するための前提となる地方交付税・地方税財源の充実強化をはじめ、町村にとつての重要問題解決のための政務活動に力を集中させるとともに、町村の政策立案などに役立てるための情報提供事業及び研修事業を充実させる。

事業

一 総会

定期総会を年一回開催し、自治功労者の表彰並びに事業計画、会務報告、予算及び決算等の審議を行う。なお、必要に応じ臨時総会を随時開催する。

二 役員会

正副会長会議及び理事会を随時開催する。

三 政務活動

(1) 全国の町村に共通する問題は、全国町村会等の関係団体に参画して、その解決に努める。
(2) 国若しくは県の諸問題又は県内町村共通の諸問題については、県当局、県議会及び本県関係国会議員に対し、要望又は意見交換を行い、それらの問題解決に努める。また、諸問題解決のための検討会を必要に応じ開催する。

(3) 町村又は本会が関係する諸団体を支援する。

(4) 法令外負担金については、その抑制及び適正化のため、群馬県市長会と共同して設置する法令外負担金等規制委員会を必要に応じ開催する。

四 調査研究

全国町村会の要請又は本会単独の調査研究事項は、総務専門委員会及び税務専門委員会等により調査研究し、町村行政を充実させるための資料を町村へ提供する。

また、県下市町村共通の行政課題に関しては、必要に応じ、群馬県市長会と共同研究を行う。

う。

五 例規支援

町村の法制執務及び政策法務等を支援する。

六 研修

(1) 町村長研修、副町村長・総務課長研修及び会計管理者研修等を実施する。
(2) 町村新規採用職員研修を実施する。

(3) 一般職員階層別研修等は、群馬県自治研修センターに委託して実施する。

(4) 専門研修は、行財政、税政及び管理職等の研修を適宜実施する。

(5) 今後の一般職員階層別研修及び専門研修等の在り方、運営方法等を調査・研究する。

七 行政視察

町村の行財政運営に資することを目的とし、先進自治体等の諸施策調査のための行政視察を必要に応じ実施するとともに、関東町村会主催の海外行政視察に参加する。

八 職員採用統一試験

希望町村の委託を受け、町村職員採用統一試験を実施する。

九 情報提供活動

(1) 本会の活動及び地方自治に関する国又は研究機関の動向・研

究成果等を随時情報提供するとともに、本県町村の魅力をPRするための広報紙『群馬自治』を発行する。

(2) ホームページにより、本会の主張・要望を広くPRするとともに、町村の魅力や政策を紹介する情報等を適時に広報する。

(3) 共同通信社・インターネット「行政情報サービス」「47行政ジャーナル」「上毛新聞Webデータベース」、第一法規株式会社・地方自治法及び地方公務員法Web検索並びに地方財務実務大全「コンシェルジュデスク」並びに「群馬県職員録」を各町村へ提供する。

(4) 群馬テレビのデータ放送「市町村情報サービス」を利用した各町村から住民への情報提供事業を行う。

十 共済事業

本会の健全な財政運営に資するため、町村の協力を得て、公有建物共済、公有自動車共済、総合賠償補償保険、団体生命共済、職員住宅火災共済、職員自動車共済、職員任意生命共済保険、個人年金共済及び災害対策費用保険等の充実強化及び加入推進を図る。

全国町村会

表彰伝達

自治功労者表彰

〈町村長三期〉

神流町長 田村 利男
川場村長 外山京太郎



外山川場村長へ表彰状を授与

明和町長

富塚 基輔



受賞者を代表し謝辞を述べる富塚明和町長

〈町村長在職四期以上の者で当該職を辞した者〉

前榛東村長

眞塩 卓



眞塩前榛東村長へ感謝状を贈呈

前邑楽町長 金子 正一 東吾妻町

群馬県町村会表彰

特別表彰

〈町村長〉

板倉町 栗原 実



栗原板倉町長へ
表彰状を授与

〈管理職〉

吉岡町 高田 栄二

中澤 礼子

福島 良一

岡野 宏巳 玉村町

今井 美和

浅川 秀行

市川 松江

田中 睦宏

増田 剛久

高橋 義信

町田 岳彦

倉林 敏明

篠原 充

高橋久仁子

佐藤 幸光

熊川 明弘

一場 礼子

田中 浩

石坂 恒久

草津町

〃

みなかみ町

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

寺嶋 正春

佐藤 智義

関 和夫

堀込 恒弘

谷 直樹

角田 良信

小池さつき

横坂 徹

島田 宏充

加藤 繁範

諸田 光明

鈴木嘉代子

鈴木 和幸

原沢 智章

高橋 一夫

鈴木 伸史

今井理恵子

宇津木雅彦

齋藤 恭

石川由利子

玉水美由紀

中繁 尚之

榛東村

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

角田 祥子

井 明子

深谷 智洋

栗原 潤士

杉木佐子

宮澤 茂寿

飯塚 洋樹

齋藤 清一

齋藤 幹広

工藤いずみ

浅川 美勝

高橋 孝宏

森田 順一

山田 克仁

中沢 一

山田 真邦

宮崎毅一郎

小林 暁彦

大塚 雅直

斎藤 広子

福島 仁子

植松 秀之

榛東村

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

竹渕 康幸

佐藤あかね

佐藤 卓哉

浦野 義行

山岸 孝宏

吉田 純也

西巻 雅子

西澤 智明

小林 路尚

佐藤 文子

萩原 里美

川合 美孔

戸丸 貴雄

小菅 喜仁

川端 崇

綿貫寿美子

新木 繁

林 昌子

田村 司

宮下 弘

小此木妙子

河合 輝尚

玉村町

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

横山 京子

原 和人

飯島 修

篠木 正和

清水 靖之

庭田 泰好

大川 智之

酒巻 伸治

筑比地浩子

高山 真実

坂川 剛

持田 恵理

関田 直也

根岸 典生

岡部 仁美

高橋 義晴

武内 直人

矢島奈美子

坂口千奈美

田村 昌代

〃

〃

「知事と町村長との 意見交換会」を開催

町村会は、昨年十二月二十七日（水）午前十時から「知事と町村長との意見交換会」を開催した。

茂原庄一町村会長（甘楽町長）の開会挨拶に引き続き、山本一太知事が「町村長のご意見を直接聞き、直接私が答える形式で意見交換会を開催するのは、知事として町村との関係を重視していることの表れであることをご理解いただきたい。」と挨拶した。

その後、出席町村長十九名が、



①人口減少対策、地域の活力の維持、増加について、②DX、デジタル化の推進について、③農林業の振興について、④防災、減災対策について、⑤環境対策

の推進、持続可能な循環型社会の実現について、⑥教育の振興についての六つのテーマについて意見、要望又は町村の現状を述べた。出席町村長からの意見

等に対して、山本知事が丁寧にコメントした後、熊川栄副会長（婦志村長）が閉会挨拶を行い、意見交換会を閉会した。

会計管理者研修会を開催

町村会は、二月二十六日、午後一時三十分から、前橋市・市町村会館501研修室において、県内二十三町村の会計管理者や会計事務担当者を対象とした会計管理者研修会を開催した。

招き、「会計事務の問題点と今後について」と題した講義を行った。

大崎講師からは、会計管理者の心構え、会計事務担当者が日々注意すべきこと、銀行の手数料問題等の課題に対する展望などについて説明し、受講者は真剣に耳を傾けた。



退職手当に関する 事務打合せ会開催 共同処理団体 32 団体から 担当者 38 名が出席

群馬県市町村総合事務組合は、市町村等の常勤の職員に係る退職手当支給の円滑な事務処理のため、共同処理団体の担当者を対象とした事務打合せ会を開催した。

河野事務局長の開会挨拶の後、坂田主事が退職手当制度の概要、退職手当の計算方法、退職手当の請求方法、退職手当に係る負担金の計算方法等について説明した。



令和6年度 町村職員採用統一試験実施案内

群馬県町村会が、町村からの受託により教養試験及び適性検査を第一次試験として実施し、その結果を委託町村へ通知するものです。

【試験日・場所】

第1回 統一試験

試験日：令和6年7月14日（日）
受 付 8：30～9：15
適性検査（職場適応性検査）
説明 9：25～
検査 9：40～10：00
休 憩 10：00～10：15
教養試験（教養：大学卒業程度）
説明 10：15～
試験 10：30～12：30

場 所：町村が指定する会場

（口述・作文試験等は委託町村において行う。）

第2回 統一試験

試験日：令和6年9月22日（日）
受 付 8：30～9：15
適性検査（職場適応性検査）
説明 9：25～
検査 9：40～10：00
休 憩 10：00～10：15
教養試験（教養：高校卒業程度）
説明 10：15～
試験 10：30～12：30

場 所：町村が指定する会場

（口述・作文試験等は委託町村において行う。）

【提供問題】

（1）適性検査…職場適応性検査

出 題 数 150 題 解答時間 20 分

使用目的 公務員としての職業生活への適応性について、職務への対応や対人関係面での性格特性をみる

（2）教養試験…教養（大学卒業程度又は高校卒業程度）

出 題 数 40 題 解答時間 120 分

出題分野 時事、社会・人文、自然に関する一般知識を問う問題並びに文章理解、判断・数的推理、資料解釈に関する能力を問う問題

※受験申込書の交付及び受付は、各町村役場において行います。

詳細については、受験を希望する町村の人事担当課に直接お問い合わせください。

令和6年度一般会計予算を決定

群馬県市町村総合事務組合の令和6年度一般会計予算については、次のとおり決定しました。

歳入	款	項	金額（千円）
	1 分担金及び負担金		3,972,217
		1 負 担 金	3,972,217
	2 消防共済基金支出金		270,299
		1 消防共済基金支出金	270,299
	3 県 支 出 金		3,750
		1 県 補 助 金	3,750
	4 財 産 収 入		45,670
		1 財 産 運 用 収 入	45,670
	5 寄 附 金		1
		1 寄 附 金	1
	6 繰 入 金		36,963
		1 特 別 会 計 繰 入 金	1,373
		2 基 金 繰 入 金	35,590
	7 繰 越 金		35,500
		1 繰 越 金	35,500
	8 諸 収 入		38,280
		1 延 滞 金	1
		2 預 金 利 子	14
		3 貸 付 金 元 利 収 入	1
		4 町 村 会 等 負 担 金	38,263
		5 雑 入	1
	9 組 合 債		3,500
		1 組 合 債	3,500
	歳 入 合 計		4,406,180

歳出	款	項	金額（千円）
	1 議 会 費		250
		1 議 会 費	250
	2 総 務 費		77,205
		1 総 務 管 理 費	77,126
		2 監 査 委 員 費	79
	3 事 業 費		3,494,221
		1 退 職 手 当 給 付 費	3,171,711
		2 消防公務災害補償等費	271,211
		3 消防賞じゅつ金給付費	5,017
		4 自然災害救助費	8,520
		5 非常勤職員公務災害補償費	33,824
		6 学校医等公務災害補償費	3,938
	4 消防共済基金掛金		267,424
		1 消防共済基金掛金	267,424
	5 公 債 費		45
		1 公 債 費	45
	6 積 立 金		565,725
		1 積 立 金	565,725
	7 予 備 費		1,310
		1 予 備 費	1,310
	歳 出 合 計		4,406,180

子供たちが愛着と誇りを持てる 町づくり・村づくりへ

群馬県町村議会議長会 定期総会を開催



挨拶を行う石内会長

群馬県町村議会議長会は、去る二月二十日午後二時から群馬県市町村会館・大会議室で定期総会を開催、県内町村議会議長をはじめ、関係者約五十人が出席した。

石内会長（玉村町議会議長）

の挨拶のあと、二月八日の全国町村議会議長会定期総会で町村議会表彰を受けた草津町議会及び自治功労者に対する表彰伝達を行なった後、本会自治功労者に対する表彰を行った。

続いて、来賓の山本知事、安

孫子県議会議長、茂原県町村会長から祝辞を頂戴し、受賞者を代表して石坂理事（みなかみ町議会議長）が謝辞を述べた。

議事に入り、「令和六年度事業計画」、「令和六年度予算」及び「令和六年度会費の額及び賦課徴収方法」を原案どおり決定した。

続いて、本会の運動方針を明らかにするため、黒岩副会長（長野



祝辞を述べる山本知事



祝辞を述べる安孫子県議会議長



祝辞を述べる茂原県町村会長

原町議会議長）から「宣言」が、坂本副会長（神流町議会議長）から「決議」が朗読提案され、いずれも満場の拍手をもって採択し、関係方面に要望することとなった。

最後に黒岩副会長の挨拶により総会を閉じた。

宣言

豊かな自然に恵まれた群馬県の町村は、国土や自然環境の保全はもとより、国民生活にとってかけがえのない水や食料を安定的に供給する公益的機能を果たすとともに、住民との距離が近い町村の長所と地域資源を活かし、住民の誰もが居場所と出番がある幸福度の高い理想の自治体への道を着実に歩んでいく。

しかしながら、多くの町村においては、人口減少社会の到来や若者の都市部への流失により過疎化や高齢化が進行し、基幹



宣言を朗読する黒岩副会長

産業である農業の担い手不足問題等にも直面している。

また、頻発化する自然災害や原油価格・物価の高騰が、住民の生活や経済活動に大きな影響を及ぼしている。

このような状況において、我々群馬県の町村議会は、持続可能で安心・安全な地域社会を維持するための議会活動を展開する。

さらに、町村議会を取り巻く諸問題の解決のため、議会の機能強化及び多様な人材が議会に参画するための環境を整える活動を行うとともに、デジタル社会・脱炭素社会の実現に向けて、町村の特長や地域の潜在力を最大限に活かした住民の幸福度をさらに高める政策を提案しながら、町村の子供たちが我が町・我が村に愛着と誇りを持てる町づくり・村づくりに全力で邁進することをここに誓う。

以上、宣言する。

決議

町村は、自主財源の乏しい中、自ら徹底した行財政改革を断行し、感染症対策や物価高騰対策

はもとより、少子・高齢社会への対応、生活関連社会資本の整備、教育・文化の振興、農林業の振興、資源循環型社会の構築、国土保全など住民の生活と福祉

の向上のため、直面する諸課題に積極的に取り組んでいるが、依然として厳しい財政運営を余儀なくされている。

また、町村議会は、地域が抱える様々な課題の解決に向け、住民の意思を反映する意思決定機関として精力的に活動しているが、一方で深刻化する議員のなり手不足を克服し、多様な人材が議員として参画することが求められており、そのためには議会が自主的な取組みを積極的に展開し、議会の魅力を高め、住民の理解と信頼の向上に一層

取り組むとともに、志を抱く誰もが議員に立候補し活躍できる環境を整えることが必要である。

こうした中、町村及び町村議会が、自主性を発揮し、地方創生を更に推進していくには、制度面及び財政面の両面において、基盤を強化することが必要不可欠である。

よって、政府及び国会議員各位におかれては、下記事項の実現を図るよう、強く要請する。

記

一、町村の実情に沿ったきめ細やかな行政サービスを十分担えるよう、町村の安定的な財政運営に必要な地方交付税等の一般財源総額を確実に確保・充実すること。

一、人口減少の克服と地方創生のため、町村が自主性・独自性を発揮し、様々な施策を着実に進めることができるよう、まち・ひと・しごと創生事業費を継続し、拡充すること。

一、議会が住民の代表機関として適切な役割を果たすため、議会の機能強化及び多様な人材が参画するための環境を早急に整備すること。



決議を朗読する坂本副会長

一、議会のデジタル化への取組みについては、技術的・財政的にも不足しており、デジタル化に向けて環境を整備することが困難な状況であるため支援を行うこと。

一、地方議会に課せられている団体意思の決定及び執行機関の監視の使命を全うできるように、地方議会議員が日常的に住民の声を広く聴取し、議案審議、政策立案、行財政の監視及び調査研究等に努める旨を地方自治法に規定すること。

一、国民の幅広い政治参加や地方議会における多様で有為な人材確保の観点から、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現すること。

以上、決議する。

全国町村議会 議長会表彰伝達

【町村議会表彰】 草津町議会



町村議会表彰の伝達を受ける宮崎草津町議会議長

【自治功労者表彰】

〈町村議会議員二十七年以上〉

下仁田町議会議員

岡田 武二

下仁田町議会議員

佐藤 公夫



本会自治功労者表彰を代表受領する佐藤理事（下仁田町議会議長）

〈町村議会議員十五年以上〉

神流町議会議員 天野 賢

神流町議会議員 三澤 望太

〈町村議会議員特別表彰〉

群馬県町村議会議長会会長

石内 國雄

群馬県町村議会議長会副会長

黒岩 巧

〈系統町村議会議長会事務局長十年以上〉

群馬県町村議会議長会前事務局

梅村 透

群馬県町村議会 議長会表彰

【特別表彰】

〈議会議員二十三年以上〉

下仁田町議会議長 佐藤 博

千代田町議会議員 柿沼 英己

【一般表彰】

〈議長四年以上〉

石原 光浩

高山村議会議員 林 昌枝

東吾妻町議会議員

須崎 幸一

〈副議長四年以上〉

草津町議会議員

中澤 広夫

高山村議会議長 山口 英司

東吾妻町議会議員 樹下 啓示

板倉町議会議員 市川 初江

〈議会議員十年以上〉

榛東村議会議員 清水 健一

神流町議会議長 坂本 英夫

甘楽町議会議員 金田 倍視

草津町議会議員 湯本 晃久

草津町議会議員 上坂 国由

みなかみ町議会議員 森 健治

みなかみ町議会議員 石坂 武



謝辞を述べる石坂理事

みなかみ町議会議員

小林 洋

明和町議会議長 坂上 祐次

大泉町議会議員 都丸 裕史

〈議会議事務局職員七年以上〉

邑楽町議会議事務局員 石原 光浩



「もつと住みやすい 新たな榛東村」を目指して

榛東村議会議長 生方 勇二

榛東村は、明治二十二年、町村制施行により、現在の大字となっており、ます長岡村、山子田村、新井村が合併して桃井村が誕生。同時に広馬場村と柏木沢村も合併し相馬村となりました。さらに、昭和三十三年、桃井村と相馬村大字広馬場が合併して新桃井村が発足。その後箕郷町（現高崎市）の新田中、新田下の二地区を加え、昭和三十四年八月、「榛東村」が誕生し、現在に至っております。

榛名山の東麓に位置している



榛東村特産品のブドウ

ことから、榛東と名付けられたようです。東西約十キロ、南北約四・五キロと細長い形をしており、面積は、二十七・九二平方キロです。東南部は宅地と農地が集中する平坦地と中部のゆるやかな傾斜地で、西北部は山間部となっております。群馬県のほぼ中央に位置し、周囲は前橋市、高崎市、渋川市、吉岡町と接しています。十五年ほど前に現在地に移転した役場庁舎からは、関東平野が一望でき、筑波山や東京のスカイツリーも確認でき、前橋、高崎方面の夜景も綺麗に見えます。年間の降水量が少ないため、かつては水源に乏しい地域でしたが、用水路の発達により今では豊かな田園が広がり、農業が発達してきました。近年では、商工業や観光、レジャーを取り入れた産業も伸びております。また、道路の開発が進み、近隣市町村への行き来もしやすくなり、一番遠い高崎市の中心部まで車で約三十分



しんとうワイナリー

圏内であり、より便利で安心して暮らせるベッタタウン的な地域へと発展しております。

人口は、一万四千六百四十七人、世帯数六千二百五十五世帯に自衛隊員の四百五十二世帯（令和六年二月一日現在）も含まれており、ほぼ横ばいで推移しております。

現在、村には小学校二校、中学校一校、幼稚園二園、保育園一園、子ども園二園と令和六年度から私設の保育園が新たに開設する事になっております。

平成の大合併において、隣接する自治体が合併する中、本村は加わらず今日に至っております。

村の特徴は、役場の南に隣接している、陸上自衛隊第十二旅団の司令部と相馬ヶ原駐屯地の所在地であることです。このため、村では共存共栄を目指して、協力的体制の維持に力を入れているところであります。

県内外に知られております観光ブドウ園は、収穫時期になると多くの観光客や個人客で賑わっております。このおいしいブドウを使用した、しんとうワイナリーも大変好評です。また、創造の森にあるキャンプ場は、眺望も良く夜景が綺麗なことから



創造の森キャンプ場の夜景

ら、近年人気が高まっています。さて、村では昨年の統一地方選挙により、初めての女性村長が誕生しました。南村長と共に、小池副村長、須永教育長も、新たに就任されました。また、議会も令和三年四月の通常選挙から定数が十二人に削減され、昨年は村長選挙と共に議員補欠選挙が行われ、五人の議員が新たに加わり再スタートしました。

現在、村の主要な事業としては、村の中央部に、防災の中核を担う新公民館と学校給食センターを備えた、新たな複合施設の建設工事に着手しました。また、令和八年度の完成を目指して進めている、駒寄インターチェンジからの延伸道路も着々と延びており、完成するとインターから役場や自衛隊まで五分程度と、都心への距離もさらに近くなります。更には、子育て支援、教育、福祉の充実にも積極的に取り組んでおります。

議会といたしましても、これらの村の事業を注視しながら、課題にも取り組み、協力すべきところはしっかりと協力して、村の発展のために共に切磋琢磨して、前に進めて行きたいと考えております。

群馬県市町村公平委員会苦情相談について

苦情相談制度の概要

苦情相談制度は、職員の勤務条件や職場環境等に関する悩みや苦情を解消することにより、職員の方が意欲をもって安心して職務に専念できるようにし、もって公務効率の維持向上を図ることを目的とした制度です。

対象となる職員

共同設置団体の一般行政職員、教職員、消防職員、任期付職員、臨時的任用職員、会計年度任用職員、条件付採用期間中の職員の方などが対象ですが、特別職の職員、企業職員、単純労働職員に該当する職員の方は、この制度の対象になりません。また、教職員の方については、相談の内容によって県の人事委員会などが窓口となる場合があります。

相談できる内容

任用、給与、勤務時間その他の勤務条件、服務に関する悩みをはじめ、職場の人間関係や職場におけるセクシャル・ハラスメントなど人事管理の全般に關しての相談が可能です。ただし、離職した職員の方は、離職又は再任用に関することに限ります。

また、相談に関する秘密は厳守します。

【相談の例】

- ・年次休暇が認めてもらえない など
- ※不正の告発、密告、個人的な悩みなどは相談の対象になりません。
- ※審査請求及び措置要求の手続きについての問い合わせにもお答えします。

相談の処理

相談者の話を聞いたうえで、助言や当局への伝達を行う

ほか、必要に応じ関係当事者に対する指導、斡旋などを行います。なお、相談の処理にあたり、相談者の上司その他関係者に対して調査などを行う場合は、相談者の了解を得た上で行います。

相談の方法等

面談、電話、文書、電子メールのいずれかの方法により相談を行うことができます。なお、原則として職員本人からの相談に限られ、代理人等による相談はできません。

その他

相談者の職、氏名、所属、相談内容などについて秘密は厳守します。関係者への事情聴取や照会などを行う場合は、事前に相談者の了解をとりますので、安心してご相談ください。

職員が苦情相談を行ったこと等によって職場で不利益な取扱いを受けることがないよう任命権者において配慮しなければならぬこととなっています。(職員の苦情の処理に関する規則第8条)

お問い合わせ先 (総務課)

E-mail:gun-kouhei@gck.gr.jp Tel:027-290-1352

共同設置団体

沼田市 館林市 渋川市 富岡市 安中市 榛東村 吉岡町 上野村 神流町 南牧村 甘楽町 中之条町 長野原町 嬬恋村 草津町 高山村 東吾妻町 片品村 川場村 昭和村 みなかみ町 玉村町 板倉町 明和町 千代田町 大泉町 邑楽町 烏帽子山植林組合 桐生地域医療企業団 邑楽館林医療企業団 館林衛生施設組合 吾妻東部衛生施設組合 西吾妻衛生施設組合 館林地区消防組合 利根沼田広域市町村圏振興整備組合 西吾妻環境衛生施設組合 渋川地区広域市町村圏振興整備組合 富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合 沼田市外二箇村清掃施設組合 群馬県市町村会館管理組合 吾妻広域町村圏振興整備組合 大泉町外二町環境衛生施設組合 利根東部衛生施設組合 富岡地域医療企業団 群馬県市町村総合事務組合 西吾妻福祉病院組合 太田市外三町広域清掃組合 群馬東部水道企業団 吾妻環境施設組合 群馬県後期高齢者医療広域連合

これからの主な行事予定

群馬県町村会関係	日 程	会 場
町村新規採用職員研修会	4月8日(月)～11日(木)	市町村会館 大研修室
各郡町村会・議長会事務局連絡会議	4月22日(月)	市町村会館 議長会役員室
関東町村会トップセミナー	4月23日(火)～24日(水)	東京都 全国町村会館
理事会	4月24日(水)	東京都 全国町村会館
町村長研修及び懇談会並びに臨時総会	5月8日(水)～9日(木)	嬬恋村 万座温泉
自動車事故処理及び災害共済関係事務担当者打合せ会	6月 月上旬	市町村会館 501研修室
消防団員等公務災害補償に関する事務打合せ会	7月5日(金)	市町村会館 501研修室
第1回町村職員採用統一試験	7月14日(日)	実施町村の指定会場
関東町村会トップマネジメントセミナー	7月22日(月)～23日(火)	東京都 全国町村会館
人事評価実務研修会	7月下旬	市町村会館 501研修室
理事会	7月30日(火)	市町村会館 町村会役員室
知事と町村長との意見交換会	8月7日(水)又は8日(木)	市町村会館 大会議室
人物試験評価者研修会	8月15日(水)	市町村会館 501研修室
第2回町村職員採用統一試験	9月22日(日)	実施町村の指定会場
町村税務担当課長研修会	10月上旬	市町村会館 501研修室
災害共済関係事務担当者打合せ会	10月9日(水)	市町村会館 501研修室
町村長研修・懇談会	10月31日(木)～11月1日(金)	未定(県外)
町村総務・財政・企画担当課長研修会	11月 月上旬	市町村会館 501研修室
理事会	11月8日(金)	市町村会館 町村会役員室
全国町村長大会	11月20日(水)	東京都 NHKホール
県関係国会議員との意見交換会	11月20日(水)	東京都 ホテルグランドアーク半蔵門
理事会	令和7年1月10日(金)	市町村会館 町村会役員室
退職手当に関する事務打合せ会	1月下旬	市町村会館 501研修室
定期総会	2月中旬	市町村会館 大会議室
町村会計管理者研修会	2月下旬	市町村会館 501研修室
群馬県町村議会議長関係	日 時	会 場
各郡町村会・議長会事務局連絡会議	4月22日(月)	市町村会館 議長会役員室
議会事務局長・事務局職員研修会	4月25日(木)	市町村会館 501研修室
全国町村議会議長・副議長研修会	5月21日(火)	東京都 東京国際フォーラム
理事会	5月29日(水)	市町村会館 議長会役員室
臨時総会及び町村議会議長・事務局長研修会	5月29日(水)	市町村会館 大会議室
町村新議員研修会	7月2日(火)	市町村会館 501研修室
決算監査	7月19日(金)	市町村会館 議長会役員室
理事会	7月26日(金)	市町村会館 議長会役員室
役員懇談会	7月26日(金)	前橋市内
全国町村議会事務局職員研修会	8月2日(金)	東京都 日経ホール
全国町村議会広報研修会	9月25日(水)	東京都 ニッショーホール
町村監査委員表彰式・全国研修会	10月22日(火)～23日(水)	東京都 LINE CUBE SHIBUYA (渋谷公会堂)
理事会	10月28日(月)	市町村会館 議長会役員室
町村議会議員研修会	11月5日(火)	玉村町文化センター
町村議会議長全国大会及び県関係国会議員との意見交換会	11月13日(水)	東京都 NHKホール 東京都 ホテルグランドアーク半蔵門
町村議会広報研修会	11月21日(木)	市町村会館 501研修室
町村議会広報クリニック	11月22日(金)	市町村会館 501研修室
正副会長会議	令和7年1月17日(金)	市町村会館 議長会役員室
理事会	1月17日(金)	市町村会館 議長会役員室
定期総会	2月中旬	市町村会館 大会議室
全国町村議会広報クリニック	2月13日(木)	東京都 全国町村議員会館